

教える

education@asahi.com

外国人の子供向け教材

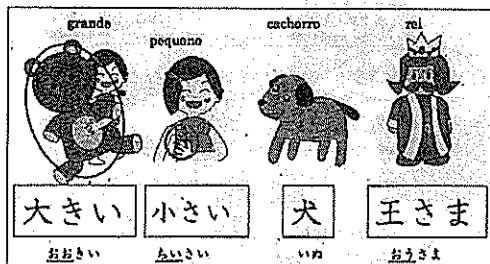
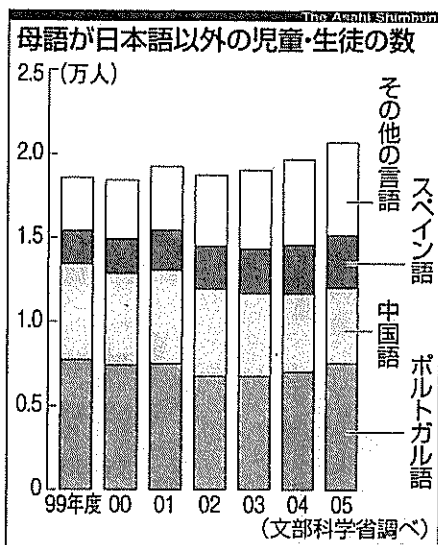
東京外大 まずポルトガル語で

日本語がよく分からない定住外国人の子ども向けの教材づくりを東京外国語大学が進めている。4月にまず、最も多いブラジルから来た児童向けの算数と漢字の教材をネット上で無料公開し始めた。各地の先生に意見を寄せてもらい、改良していく計画だ。

文部科学省の調査によると、公立の小・中・高校に在籍する外国人のうち日本

語指導を必要としているのは05年時点で約2万7000人まで増えた。うち、ポルトガル語を話すブラジル人が約4割を占める。

日本語のできない子に対応するため、ブラジル人が多く住む自治体では教員数を増やしたり日本語学級を設けたりしている。教材をどうつくるかが、現場の先生たちの悩みの種だった。



算数では、絵を多用し、視覚で数や足し算引き算の概念が分かるようにし、先生用の指導書もある。

3月末にはフォーラムを開き、ブラジル人が多く住む群馬県太田市、長野県上田市、浜松市の先生たちと意見交換をした。センター長でもある高橋正明教授は「現場の感想や工夫を共有し、より良い教材にしていきたい」と話す。今後は、ポルトガル語の理科版やフイリピン語の教材なども作

そこで、ブラジルと縁の深い三井物産の協力も得て、東外大の多言語・多文化教育研究センターがポルトガル語の教材を作ることになった。生活や、全教科の基本となる小学校低学年の算数と漢字から着手した。子ども用だけでなく、先生用の指導書もある。

そこで、ポルトガル語と縁の深い三井物産の協力も得て、東外大の多言語・多文化教育研究センターがポルトガル語の教材を作ることになった。生活や、全教科の基本となる小学校低学年の算数と漢字から着手した。子ども用だけでなく、先生用の指導書もある。

生向けにポルトガル語用語集も付けた。表音文字であるアルファベットしか知らない子にとって、表意文字の漢字は難しい。そこで、教材では、漢字と絵を繰り返し結びつけ、一つひとつの文字が持つ意味を理解させるようにした。

ポルトガル語も話せるスタッフが電話(042・330・5454)で対応する。ホームページは、http://www.tufs.ac.jp/commom/mlmc/kyouzai/brazil/

漢字の教科書では、ポルトガル語とさし絵を付けて理解を助ける。東京外国語大学提供

生向けにポルトガル語用語集も付けた。表音文字であるアルファベットしか知らない子にとって、表意文字の漢字は難しい。そこで、教材では、漢字と絵を繰り返し結びつけ、一つひとつの文字が持つ意味を理解させるようにした。

3月末にはフォーラムを開き、ブラジル人が多く住む群馬県太田市、長野県上田市、浜松市の先生たちと意見交換をした。センター長でもある高橋正明教授は「現場の感想や工夫を共有し、より良い教材にしていきたい」と話す。今後は、ポルトガル語の理科版やフイリピン語の教材なども作

ポルトガル語も話せるスタッフ

が電話(042・330・5454)で対応する。ホームページは、http://www.tufs.ac.jp/commom/mlmc/kyouzai/brazil/

ポルトガル語も話せるスタッフ

が電話(042・330・5454)で対応する。ホームページは、http://www.tufs.ac.jp/commom/mlmc/kyouzai/brazil/

ポルトガル語も話せるスタッフ

が電話(042・330・5454)で対応する。ホームページは、http://www.tufs.ac.jp/commom/mlmc/kyouzai/brazil/

ポルトガル語も話せるスタッフ

が電話(042・330・5454)で対応する。ホームページは、http://www.tufs.ac.jp/commom/mlmc/kyouzai/brazil/